

(株) 結企画 放課後等デイサービス事業 にじいろの木すみれ

2025年度 利用者アンケート ならびに従業者による自己評価 報告

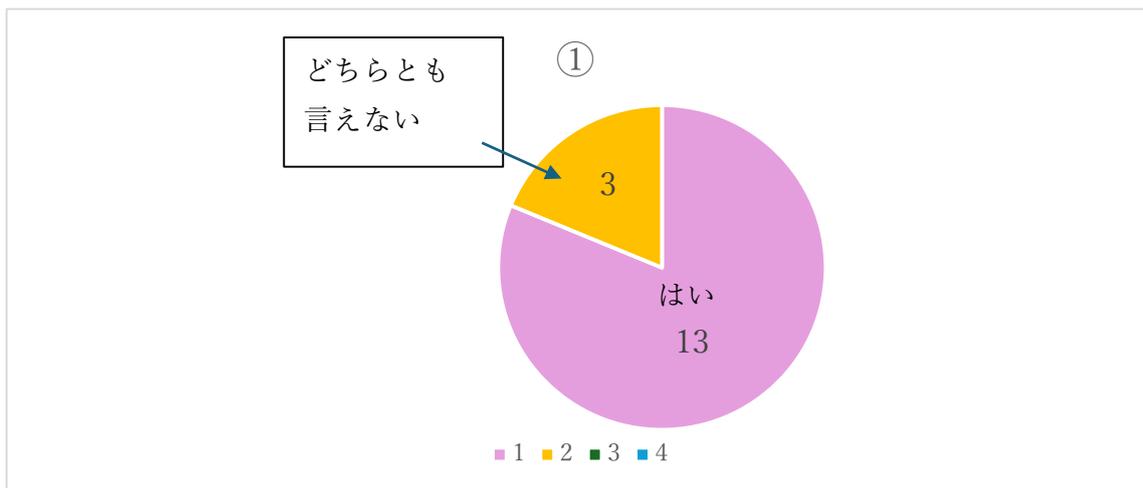
はじめに

『にじいろの木すみれ』にてご契約いただいている多くの保護者様からご回答をいただきましたことを、心より感謝申し上げます。このアンケートは2025年12月末に在籍していた児童を対象にアンケートを実施し、職員による事業所評価を加味してコメントをさせていただいております。お気づきのことがありましたら、いつでもお声掛けください。

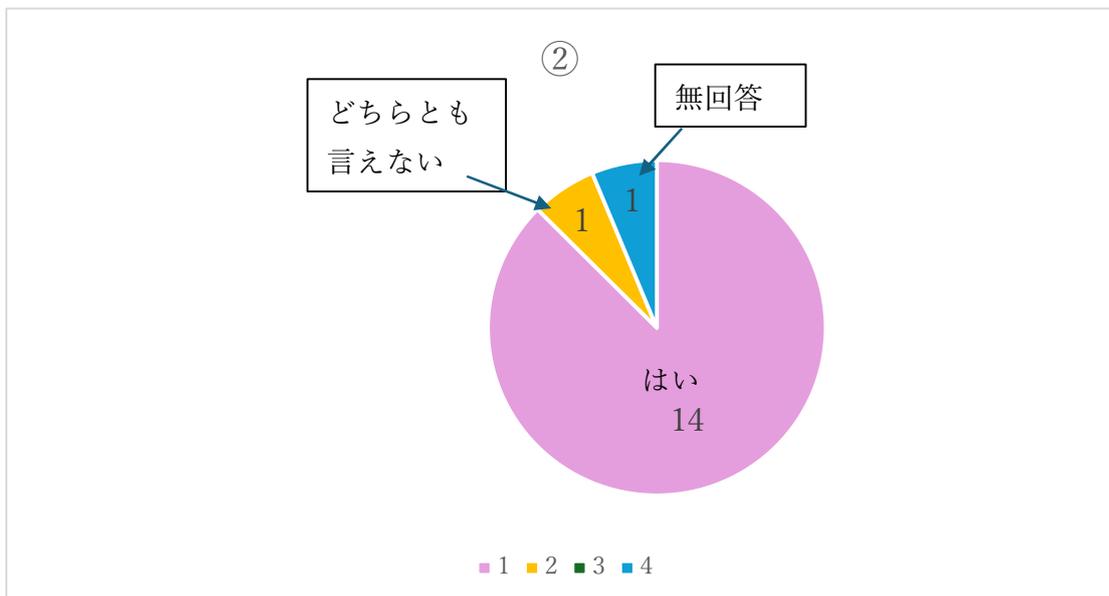
調査数:19世帯 回答数:16 (回収率:84.2%)

I. 環境・体制整備

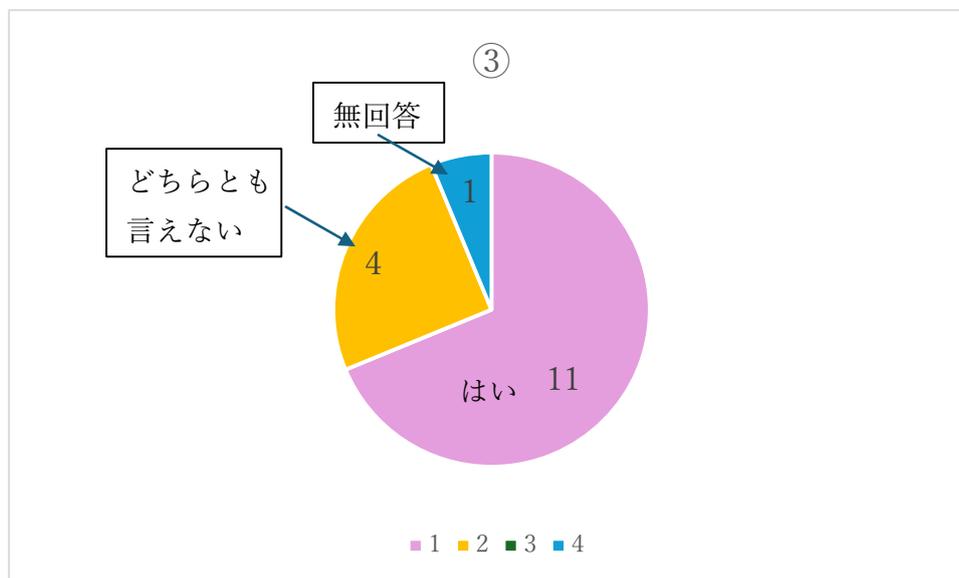
① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。



② 職員の配置数や専門性は適切であるか。



- ③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか。



【環境・体制整備に対するご意見】

②どちらとも言えない：毎日の人数や状況を知らないため

②無回答：わからない

④ 無回答：知らない

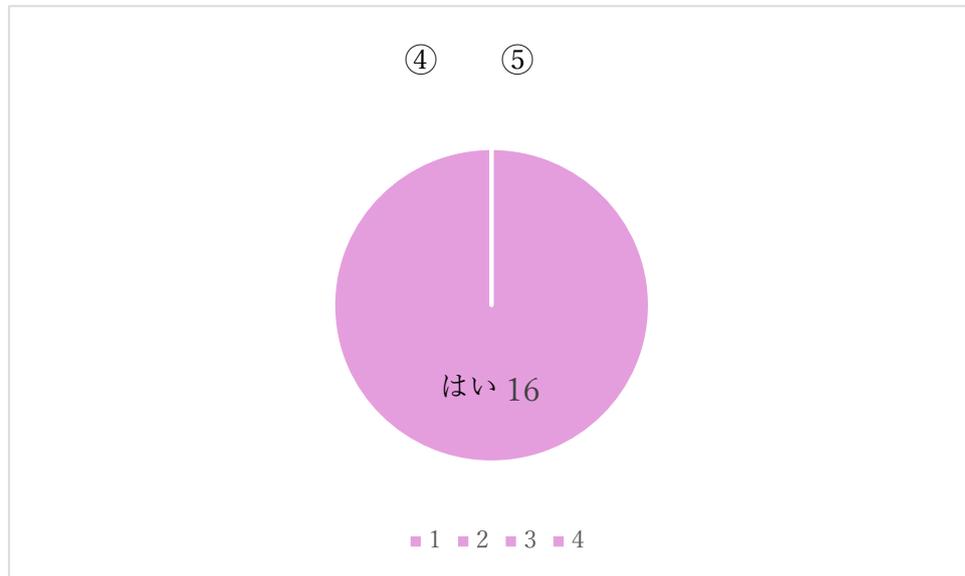
【すみれより】

概ね評価いただいております。すみれは、日々10名定員の受け入れの枠の中、直接支援にあたる基本人員のスタッフ、児童発達支援管理責任者、児童指導員、専門支援員を配置しており、児童・生徒1人に対して、0.5～0.6人程度のスタッフ配置が可能となっております。国が定める人員配置基準は、こども10人に対してスタッフ2人（こども1人に0.5人）となっており、その基準を満たした人員配置を行うことができます。専門性に関しては、オンラインでの研修を取り入れ、自己研鑽の機会を設けています。また、日々の支援の中で、その支援が適切であったのか、よりよい支援とは何かをスタッフ間で協議し、実践に繋げるようにしております。

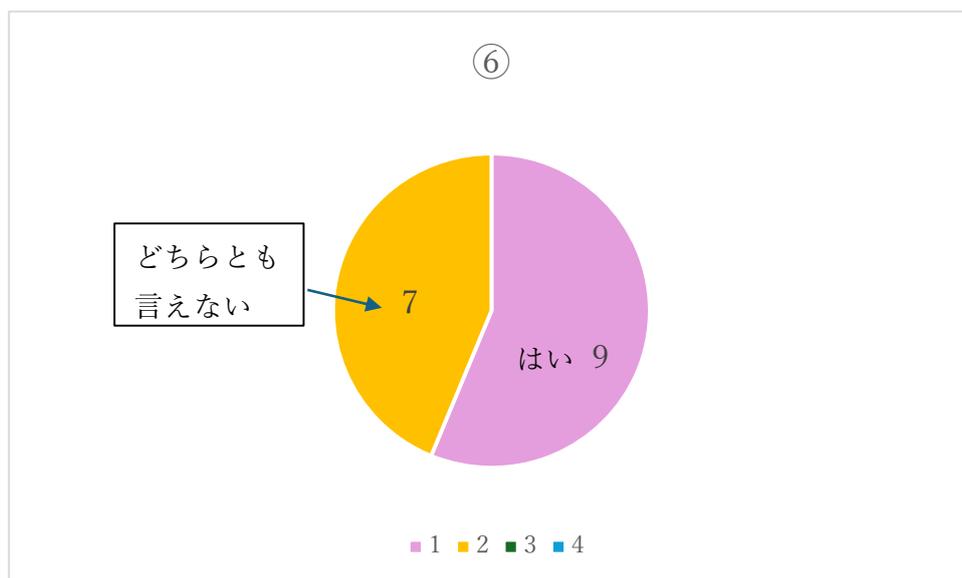
スタッフによる自己評価においては、建物の構造上、バリアフリーではない、どちらとも言えないという意見が大半を占めました。階段の昇降や活動場所についてのルールを細やかに設定し、子ども達に分かりやすく提示することで、事故なく日々を過ごさせています。

II. 適切な支援の提供

- ④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか
- ⑤ 活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか



- ⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと交流する機会があるか



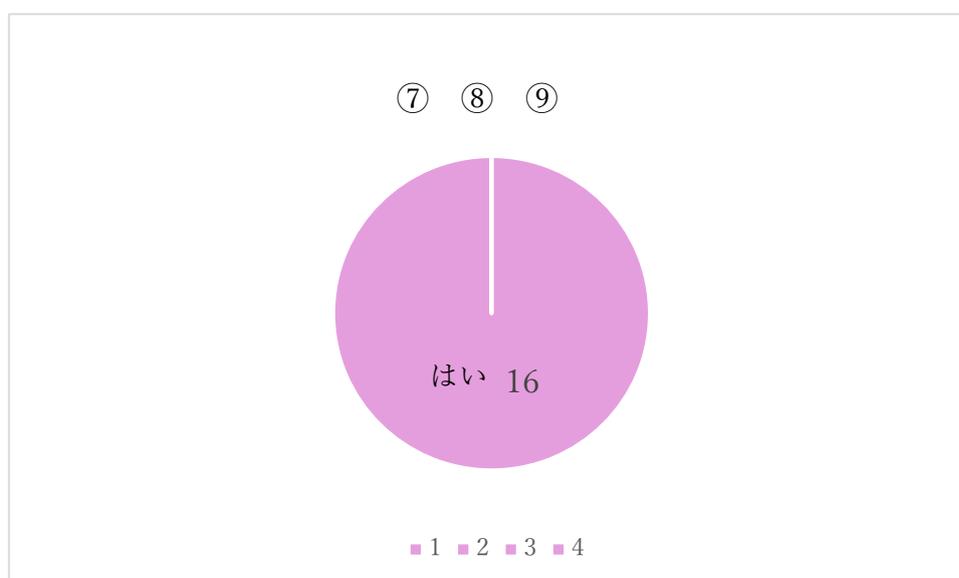
【すみれより】

高い評価をいただいたことを嬉しく思います。子ども達一人ひとりに対して、複数スタッフにてアセスメントを行い、児発管を中心に個別支援計画書を作成し、それに基づいて

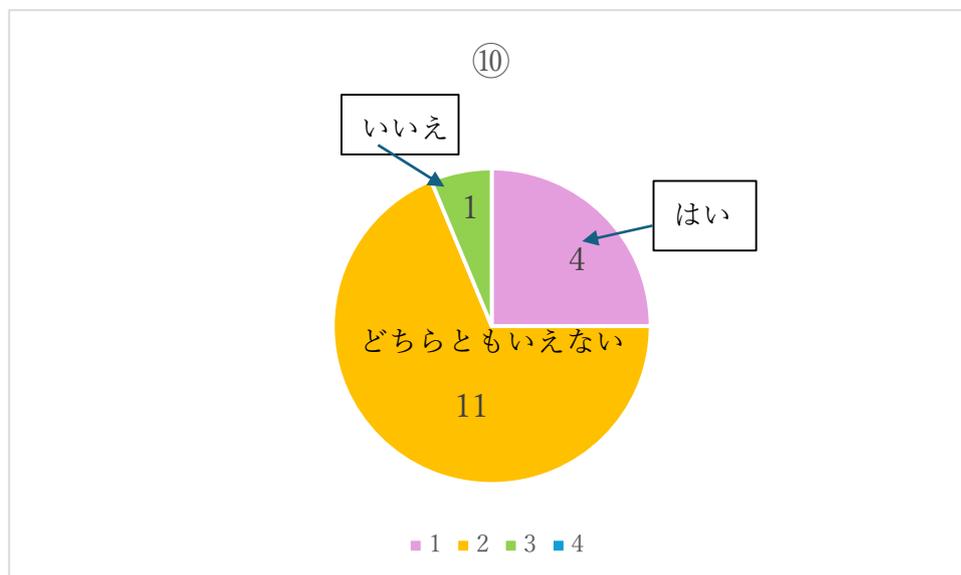
日々の支援を行っております。活動プログラムについては、すみれが最も力を注ぎ、工夫を凝らしているところです。放デイの5領域を軸として、集団、個別のねらいを持って日々の活動を組み立てています。活動には、新しい情報を捉えつつ、子ども達の育ちにとって大事なことを組み込んでいます。その季節ならではの活動は、そのひとつと言えます。夏祭り、ハロウィン、クリスマス、餅つきなどの行事的な色合いの活動を友だちと一緒に小集団の中で経験することで、やりとりが生まれ子ども達のより豊かな経験に繋がっています。また、春には山桃の実を見つけて食べてみる、夏には熊本ならではの場所で水遊びを楽しむ、秋にはどんぐりを見つける、冬には凧あげをする。現代の子ども達の生活の中で色薄くなっている印象がある活動をたくさん取り入れています。毎日のことですので、中心となって考案しているスタッフは頭を悩ませ、行き詰まることもあります。そんな時には、スタッフみんなで案を出し合い、活動内容を精査することを繰り返しています。自己評価においては、日々の業務に追われ、振り返りが不十分であるとの意見が挙がりました。今後に向けての改善点として、振り返りの時間の確保を行っていきたいと考えます。

Ⅲ. 保護者への説明等

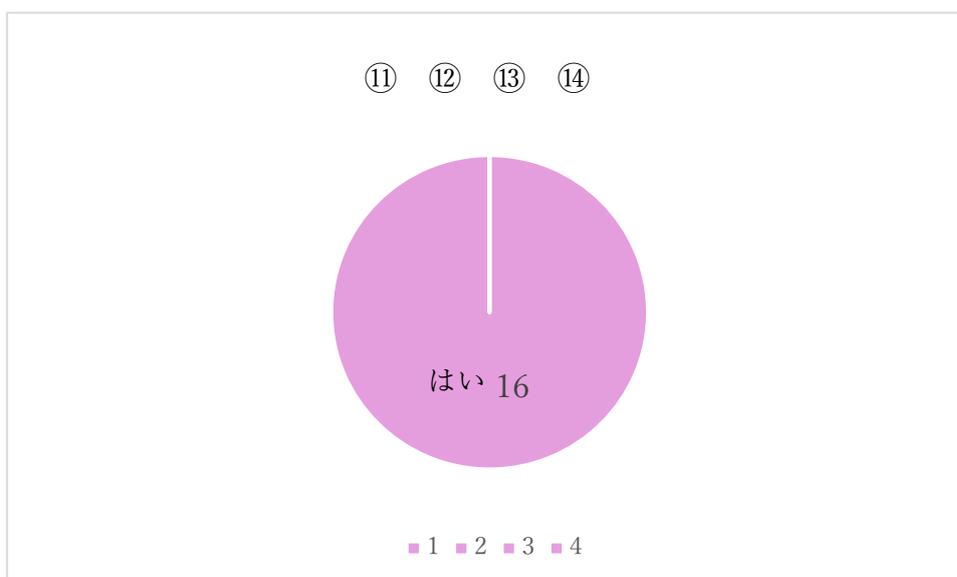
- ⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか
- ⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか
- ⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか



- ⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか



- ⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか
- ⑫ 子どもや保護者との意見の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか
- ⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか
- ⑭ 個人情報に十分注意しているか



【保護者への説明等に対するご意見】

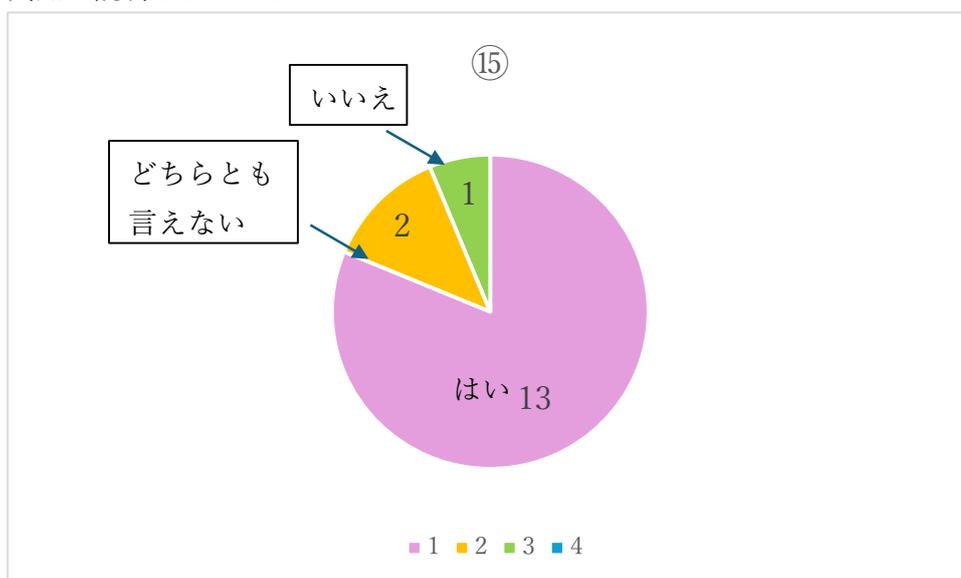
⑬ 一時期更新が滞っていたが、最近改善された

【すみれより】

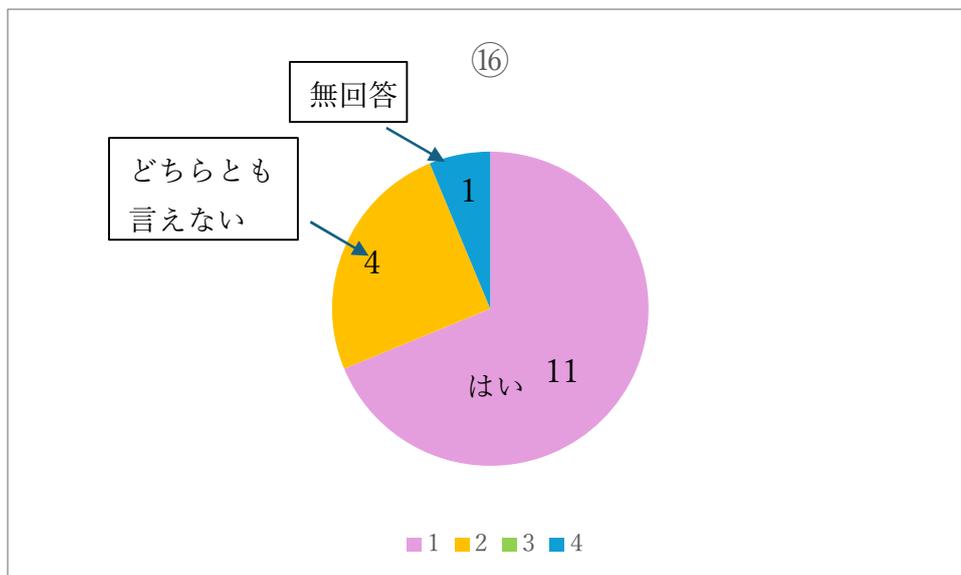
子どもを真ん中に、保護者様、関係機関、すみれがチームとなって四方八方からの目線で子どもの行動を捉えていった時に初めて、その子がその時にどんな思い、背景からその行動を起こしていったのか、どのような関わりが必要なのかを導き出すことができると考えます。私たちがすみれの中で見ている子どもの姿は、子どもの中の一部であって、すべてではありません。こんな姿がありましたよとお伝えするツールが SNS、連絡帳、個別支援計画書、にじいろ通信です。保護者の皆さま、ご多忙の中とは存じますが、家庭でこんなことがありましたと、嬉しいことも困ったことも悩んでいることも、ご連絡いただければと思います。双方からのやりとりの中で見えてくる支援、関わりがあると考えます。連携強化の策として、個別面談の実施を検討しております。詳細決定いたしましたら、改めてご案内させていただきます。⑧の回答の中に、◎をつけて下さった保護者様がいらっしゃって、本当に嬉しく思いました。そこには、それぞれのお子さんに関わってらっしゃる相談員さんのお力の大きさもあるかと思えます。細やかな日程調整をしてくださって、担当者会議を実施できていることが、多くの方の協力の元に成り立っていることを忘れないようにしたいと思います。⑩の父母の会等については、すみれでは実施しておりません。今後、行事への保護者様の参加の機会を設けること、学習会等の機会を設けることを検討していきたいと考えます。毎月のにじいろ通信、インスタグラムでも情報発信を行っていきますので、よろしくお願いいたします。

IV. 非常時等の対応

⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか



⑩ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか



【非常時の対応に対するご意見】

⑮ いいえ：私が忘れていただけかも

⑯ どちらともいえない：よくわからない 無回答：知らない

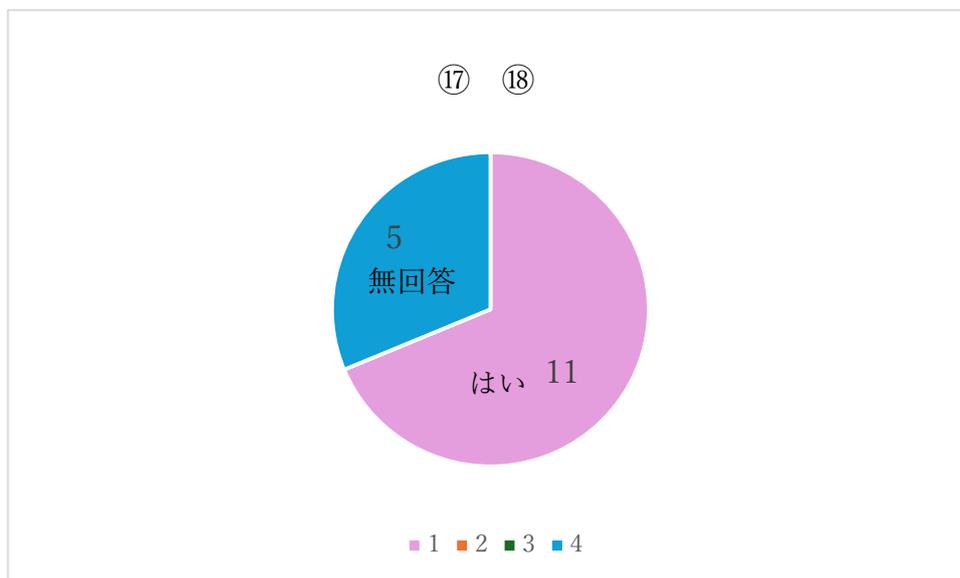
【すみれより】

すみれでは、⑮にあるマニュアル関係、すべて策定しております。その概要を重要事項説明書にて保護者様に共有させていただいております。ただ、アンケートでの回答結果を見ますと、その周知の仕方について曖昧なところがあることがわかりました。今後、社会の変化に伴い、マニュアルの見直しを行っていく予定ですので、改訂できたものを保護者様に提示させていただきたく存じます。避難訓練の実施については、2か月に1回のペースで実施しております。こちらもアンケートの結果から、周知の仕方についての課題が見えています。にじいろ通信などで、実施した際にお伝えをしていくことを徹底していきます。

スタッフによる自己評価では、建物の構造上、避難経路が階段のみとなっていることについての疑問があがり、検討と改善を行っていきたいと考えます。

V.満足度

- ⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか
- ⑱ 事業所の支援に満足しているか



【満足度に対するご意見】

とても楽しそうです。本当に感謝しております

【すみれより】

アンケート用紙のプリントアウトの関係で、この2問の設問が裏面になっていました。配布前に、裏もあること伝わるかなと一抹の不安を抱いていたのですが、回答結果を見て、ご案内が不十分であったと、本当に後悔いたしました。改めてアンケートを取り直すことも考えましたが、無記名でのアンケートであることから、今回はこのままの集計とさせていただきます。次年度への反省点とさせていただきます。

すみれがある新町は、昔ながらの駄菓子屋さん、人形屋さん、八百屋さんなどがあって、魅力溢れる町だなと思います。すみれの活動で、そんなお店に伺うこともあります。中でも、駄菓子屋さんに行く日は、子ども達にとってわくわくドキドキの日です。限られた予算の中で、駄菓子を選び、お店の方とやりとりをさせていただいています。新年になってお餅つきをした際は、いつもお世話になっているお店にお餅を持って新年の挨拶に伺いました。そんな風に地域との繋がりも経験できていることは、とても貴重なことと思います。

また、スタッフの人脈で、他の放デイのお子さん達との交流の機会も設けております。いつもは元気いっぱいな子が、他の放デイのスタッフさんやお子さん達に対して、人見知りをした様な反応を見せたり、張り切って社交的になる子がいたり、子ども達が見せる姿は様々です。すみれの中だけでなく、広い視野を持って活動を組み立てられることは、すみれ

の大きな強みであると考えます。

最後に、すみれでは、子ども達の食をとっても大事に考えています。お客さん、店員さんの役割を楽しみながら、おしゃれな料理を食べる『すみれカフェ』。子ども達が家庭でも取り組める内容を考えて行うクッキング。スタッフの名前を冠にして、がっつりしたご飯を食べる『〇〇食堂』。そして、日々のおやつでも、おにぎり、だご汁、みそ汁、カレーなど、栄養の一端を支えられるメニューを可能な限り提供するようにしています。平日の子ども達は、12時すぎに給食を食べているのですから、『腹減った』を連呼するお子さんもいらっしゃいます。もちろん、偏食があったり、食べることに課題を抱えていたりするお子さんもいらっしゃいます。栄養素の学習を行うと、そんなお子さんが『食べてみようかな』という気持ちになって下さることもあります。そして、おいしそうに食べてくれる子ども達を見るスタッフがとても幸せそうなのです。ただ、そんなに食べて、夕食は入るのかなと心配になることもあります。そのようなことも、ご家庭の様子、教えていただくとありがたいです。

子ども達の『できた!』『楽しい!』をこれからも支えていけるように、スタッフ一同、力を合わせながら、大事にしていることを実践していければと考えています。これからもどうぞ、よろしく願いいたします。

文責：にじいろの木 すみれ

管理者兼児童発達管理責任者：西本 成巳